

全国の相対的貧困率等

相対的貧困率及び子どもの貧困率ともにおおむね右肩あがりで見られ、2012（平成24）に相対的貧困率は16.1%、子どもの貧困率は16.3%と最も高くなっている。

直近の2018（平成30）年は、相対的貧困率は15.4%、子どもの貧困率は13.5%となっている。

子どもがいる現役世帯については、12.6%となっており、そのうち、大人が一人の世帯では48.1%、大人が二人以上の世帯では、10.7%となっている。

貧困率等の年次推移

	昭和60	63	平成3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
子どもの貧困率	10.9	12.9	12.8	12.2	13.4	14.4	13.7	14.2	15.7	16.3	13.9	13.5
相対的貧困率	12.0	13.2	13.5	13.8	14.6	15.3	14.9	15.7	16.0	16.1	15.7	15.4
子どもがいる現役世帯	10.3	11.9	11.7	11.3	12.2	13.0	12.5	12.2	14.6	15.1	12.9	12.6
大人が一人	54.5	51.4	50.1	53.5	63.1	58.2	58.7	54.3	50.8	54.6	50.8	48.1
大人が二人以上	9.6	11.1	10.8	10.2	10.8	11.5	10.5	10.2	12.7	12.4	10.7	10.7

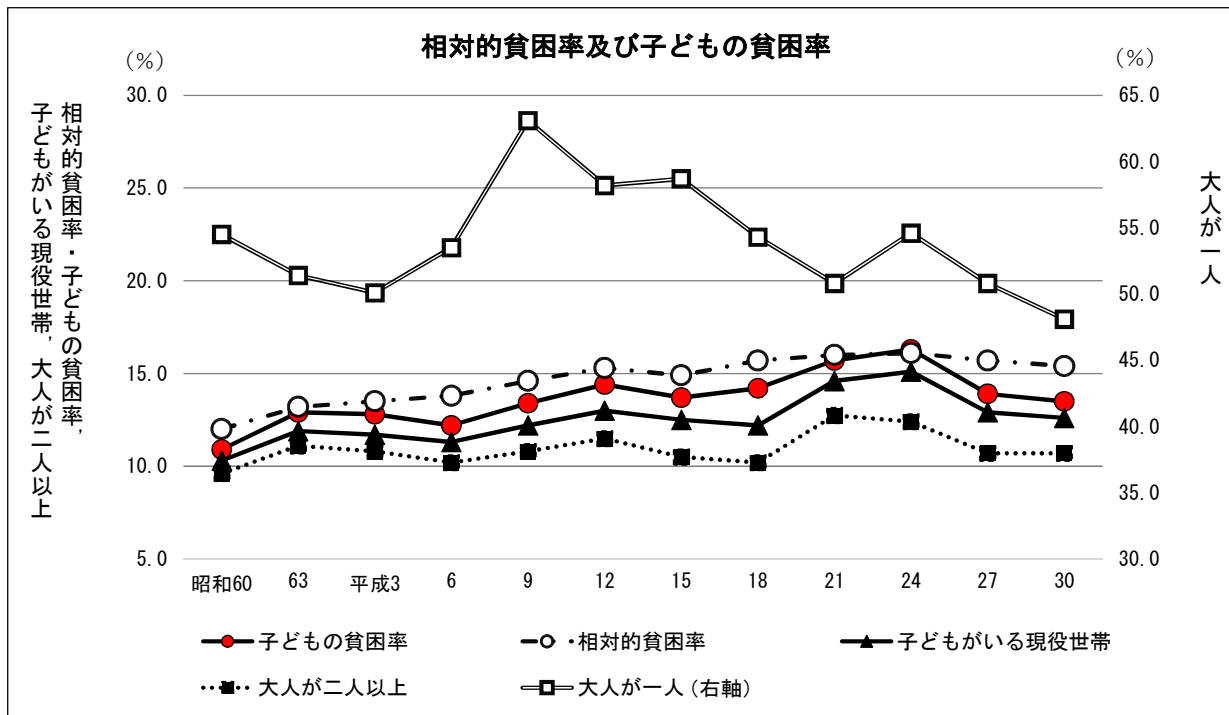
資料：厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」

相対的貧困率…一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合

貧困線…等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額

子どもの貧困率…子ども（17歳以下）全体に占める、等価可処分所得が貧困線に満たない子どもの割合

子どもがいる現役世帯の貧困率…現役世帯（世帯主が18歳以上65歳未満の世帯）に属する世帯員全体に占める、等価可処分所得が貧困線に満たない世帯の世帯員の割合



資料：厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」